

# 浜出祭

くいにしえの時を越えて

平成30年4月1日(日)開催

豊北町田耕～滝部堀切～土井ヶ浜

※少雨陰行、荒天時は神玉小学校にて神事のみ開催

問 浜出祭実行委員会

(☎083-788-0146)

(☎090-4654-9184)

「浜出(殿)祭」は「ハマイデ」、「ハマドノ」とも呼ばれる、7年に一度行われる豊北町最大の民俗祭礼行事です。山口県指定無形民俗文化財に指定(昭和51年11月24日)されました。本行事は地元の方により大切に引き継がれ、今年4月1日(日)に、華々しく開催を迎えます。

## 「浜出祭」の由来

浜出祭は、蒙古襲来による外敵降伏のためとか、この地で戦死した蒙古兵の霊が怨霊となり、疫病をなしたので、その霊を鎮魂するために行われたとか、さまざまな由来伝承が伝わっていますが、はっきりしていないのが現状です。

また、山口県指定無形民俗文化財への指定当時の意見書では、山側の田耕地区にある厳島神社(田耕神社に合祀)の祭神イチキシマヒメ(市杵島姫)という女神と海側の神玉地区にある蛭子社(神功皇后神社に合祀)の祭神コトシロヌシ(事代主命)という男神の出合祭で、「それぞれの生産を異にした山と浜の陰陽和合による式年の祭礼行事によって、村内の繁栄と秩序を乞い願わんとしたものと思われる」と説明されています。祭りの構造としては、山側と海側の人々が出合うことによって地域の繁栄や五穀豊穰を願う意味合いが強かったようです。多様な儀礼がありますが、その由来も定かでない学術的にも謎が多い祭りでもあります。

山側の田耕神社の花神子(女神様を象徴)が、海側の神玉地区の神功皇后社の花神子(男神様を象徴)と峠(滝部堀切)の合流地点で出合い、共に祭場のある土井ヶ浜を目指します。

「浜出祭」は、総勢約400人によって構成される御神幸行列と土井ヶ浜の祭場で行われる座の行事が中心となります。



## 受け継がれるしきたり

祭り開催のおよそ1年前から各地区で準備が始まります。花神子や山伏などの祭りの配役を決め、衣装や道具の確認、「口上儀礼」や「鯛切り」などの神事や座の行事で行われる儀式の練習などで慌ただしくなります。祭りの資金調達や、配役の人選など、各自治会を中心に活動しています。役によっては、代々その「家（土地）付き」と言われる役柄もありますが、現在は住民が減り、担い手が少ないのが実状です。

それでも、現代まで浜出祭が続いているのは、地元住民による努力に他なりません。祭礼の作法を次の世代に引き継ぐために、年長者が手本を見せながら何度も練習します。

5月6日まで開催中の歴史民俗資料館 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの企画展示資料の中に、花神子などの行列や祭場での儀礼の様子などが描かれている絵巻物があります。幕末から明治初期に描かれたであろう、その絵巻物や文献を参考に、多くの儀礼が現代まで引き継がれ、さらに未来へと引き継ぐべく、今は写真や映像を残しています。

衣装や小道具の数が多く、各神社、各地区で管理・保管し当日を迎えます。身にまとう衣装はとも立派で、花神子の衣装も華やかなものです。その古式ゆかしい衣装に身を包み、祭場の土井ヶ浜まで行列を成し、練り歩きます。



①

### 【練習風景】

- ①口上儀礼
- ②鯛切り
- ③ホラ貝



②



③

# 祭りのみどころ

浜出祭前日には、神功皇后神社、田耕神社でそれぞれ神事が行われ、各自治会では、当日使う鯛の受け取りや、沿道への看板や飾りの取り付けが行われます。

当日は、田耕と神玉両区間約15キロ(合祀前は約18キロ)の間を、田耕神社氏子をはじめ、それを迎える神功皇后神社(二ノ宮)の氏子、神玉地区住吉神社(一ノ宮)の氏子、山田佐平治組らによって組織された約400人の大行列が、古式ゆかしい衣装に身を包み、土井ヶ浜の祭場まで練り歩きます。

三行列が出合う堀切での儀礼、土井ヶ浜祭場において、神事、三座による行事が古くからの慣例に従って執り行われます。

## ◆行列の内訳◆

### ●田耕側行列

田耕神社

★祭神イチキシマヒメ

田耕神社氏子

### ●神玉側行列

神功皇后神社(二ノ宮)

★祭神コトシロヌシ

神功皇后神社(一ノ宮)の氏子、

住吉神社(一ノ宮)の氏子

### ●山田佐平治組

★行列の案内役

辻ヶ畑、上野、直子の自治会

※山田佐平治が何者かは不明。伝承では土地の庄屋であったといわれる

### ★当日スケジュール★

- 9:00～ 田耕神社、神功皇后社 行列出発
- 11:00～ 山田佐平治組出発
- 12:30～ 堀切 出合儀礼
- 13:15～ 堀切出発
- 15:00～ 土井ヶ浜祭場にて座の行事
- 17:00～ 餅まき

地域が誇る伝統文化です。堀切での出合儀礼の口上など、見どころがたくさんあります。花神子など華やかな衣装を身にまとった行列一行をご覧ください。



福富 太さん

### 【田耕側行列】



7年に1度という大変珍しい祭りです。人口減少や資金面において問題は多々ありますが、地域全員で取り組んでいます。



中村久敏さん



### 【田耕側行列】

田耕神社から祭神イチキシマヒメの御神体を神輿みこしに入れ、花神子を含めた約150人が行列をなし、出合の場である「堀切」を目指します。途中、大歳社付近の「音無」と言われる場所を通りますが、この場所を通る時は音を発してはいけません。大歳社の男神様が、同じ男神様のコトシロヌシのところに田耕神社の女神様のイチキシマヒメが会いに行かれるのに嫉妬されるといわれているからです。

滝部祈願所で神事を行った後、堀切に向かいます。

### 【神玉側行列】

神功皇后神社から祭神コトシロヌシの御神体を神輿みこしにいれ、花神子と共に出發します。土井ヶ浜の祭場に神輿を設置し、途中、一ノ宮の氏子の行列も加わり、約80人で、行列は出合いの場「堀切」を目指します。

### 【山田佐平治組】

田耕側行列を堀切から土井ヶ浜の祭場まで行列の先頭に立ち、案内する行列です。直子自治会館から大宰領など約30人の行列を組んで「堀切」を目指します。

### 【堀切】

三行列が集結し「出合儀礼」が行われます。田耕側・神玉側・山田佐平治組が各々の陣屋に分かれて、双方による口上儀礼が行われ、終了後、酒の鏡割が行われ、山伏などにより見学者に振る舞われます。行列は隊列を組み直し、共に土井ヶ浜の祭場を目指します。

## 【神玉側行列】



堀切での出合儀礼後、三行列  
浜祭場に向かう

## 土井ヶ浜祭場

(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム横広場)

## 神功皇后神社



## 住吉神社

## 堀切

(JA下関 豊北施設団地)

## 直子自治会館



## 【山田佐平治組】

地域の慣例行事となっており、大切にしています。現代も変わらず続く、「口上儀礼」や「鯰切り」などじっくりとご覧ください。



浜出祭実行委員長  
國重正一さん



▲浜出祭絵巻(部分) 豊北歴史民俗資料館「太翔館」蔵  
幕末から明治初期に描かれたと推定される絵巻物

【土井ヶ浜祭場】

堀切を出発した行列一同が到着すると、田耕神社の神輿を神功皇后神社の隣に設置します。浜出祭の中心的な儀礼は、土井ヶ浜祭場で行われる数々の儀礼です。

まず両神社の宮司を中心とした「神官座」による



神事が執り行われます。

次に「波原座」「岡林座」を加えた三座で座の行事が行われます。

浜出祭の一番の見どころです。

三座の行事が終わり、各神社で神遷しが行われると7年に1度の「浜出祭」が終了します。



◆三座による行事◆

【入亭主新左衛門挨拶】行事のはじまりを告げる

【奉幣行事】田耕行列のご幣持が持ってきた大幣で各座で祓う

【口上儀礼】神官座・岡林座・波原座の各座で口上と刀さばきの儀礼

【神子の舞】田耕・二ノ宮両花神子が神官座を左廻りに一巡する

【神酒三献】神官座のみで行われる。三三九度の儀礼で、両神様の婚姻儀礼とも考えられている

【魚据・鯛切り行事】浜出祭における儀礼のうち、古式を残したものといわれ、各座事同時に行われる。各座の鯛据え役によって持ち込まれた鯛を、田耕の鯛切り役によって、手を使うことなく、鉄箸と包丁のみで鯛を切る

【膳据行事】鯛切りで切った鯛を各座ごと酒粕などで味付けし、膳据え役が膳にして各座に運ぶ

【直会】配膳された鯛を食す

浜出祭は、古い祭りの形式を今に伝える希少な祭の一つです。また、「浜出」という名があるよう、福島県や宮城県、茨城県をはじめとする太平洋沿岸地域にも「ハマオリ」「ハマイデ」「オハマスガリ」などとよばれる神輿にのった神々が山間部から海辺部へ数ヶ村にわたって臨幸する「浜下りの神事」があり、「浜出祭」との関連があるかどうか興味あるところですよ。

人集めから儀礼の練習まで、いかに多くの地域の人々が関わり、成り立っているのか、このお祭を通して分かります。そこには、このお祭が先祖の人々と邂逅し、感謝する場であると同時に、新しい次の7年に向けて始動するための時間と空間がそこに感じられます。

まさに祭の原点は人々の大きな力＝「絆」があっはじめて行われるものと確信できる場でもあります。



豊北歴史民俗資料館「太翔館」  
館長 吉留 徹



## 次の世代に向けて

「浜出祭」が次に行われるのは7年後です。過疎・少子化が進む中、私たちにできることは何でしょうか。地域のつながりが薄いとされる現代、協力しながら伝承を今に伝える豊北町の「浜出祭」から学ぶことは、祭りの儀礼だけでなく、地域共存の糸口かもしれません。

参考・平成16年度豊北町歴史民俗資料館企画展

「カオ・カオ・顔」浜出祭写真展

浜出祭調査報告書Ⅰ(資料編)

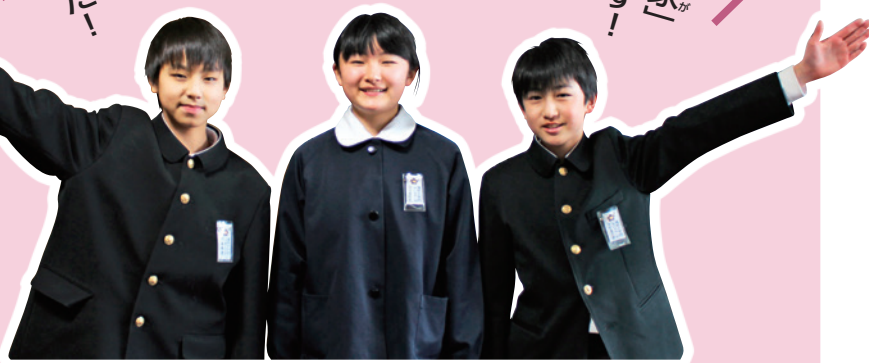
私たちも勉強したよ!

滝部小学校6年生は浜出祭について調べたことを学習発表会で発表しました。

口上を覚えて発表しました!

皆さん、7年に1度の浜出祭を見に来てくださいね!

浜出祭に「将家」役で参加します!



川島くん

阿立さん

河田くん

## 交流する神々 -「浜出祭」の原点-



7年に一度開催される浜出祭について、その魅力を展示で紹介しています。

期間 5月6日(日)まで

場所 ①豊北歴史民俗資料館 太翔館

②土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

料金 ①無料、②一般200円、大学生等100円

圃太翔館(☎782-1651)

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム(☎788-1841)